

「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」中間評価結果表

研究領域	研究領域1 豊かな経済活力を生む社会経済制度の設計
研究課題名	高質の住宅ストックを生み出し支える社会システムの設計
責任機関	一橋大学
研究代表者	齊藤 誠

評価結果

- A . 現行のまま推進すればよい
- A- . 研究計画の一部見直し等努力の余地がある
- B . 研究計画の大幅な見直し等一層の努力が必要である
- C . 研究費の減額又は研究の終了が適当である

評価にあたっての意見

本研究は問題意識が明確であり、具体的な政策提言への貢献を意識した研究である。また、地震リスクなど取り上げられた項目がわかりやすく、個別のテーマへの接近も行動経済学の最近の動向を踏まえた新しい研究であり、実証のレベルも高度である。その意味で本研究には独創性があり、国際的にも優れた研究成果が期待できる。

今後、研究面については、そもそもなぜ日本には良質な住宅ストックがないのかを併せて考察すること、また、政策提言面については、「住宅ストックの質を向上させるインセンティブをうまく引き出す“仕組み”を具体化」するために、どのような体系的・全体的な制度設計が提案されるかの筋道を示すことが期待される。併せて、研究成果の社会への具体的な還元についても、さらなる工夫が期待される。

研究が対象とするリスクマネジメントは地震などの自然災害が中心であるが、可能であれば他のリスクを含めての政策提言を期待したい。